



2022.3.12 sat

第6回 みんなのハッピーカーコンクール
オンライン表彰式(コートヤード・バイ・マリオット名古屋)

イベント
レポート

たくさんの人と動物があたたかく描かれた作品が集合 明るく笑顔あふれる未来を感じられる表彰式に



特別賞 森ももこさん



審査委員長選出による特別賞を受賞した森ももこさん(6年生)の作品

写真左より主催者NPO法人KIMIMO理事長・印東梓さん、文部科学副大臣の池田佳隆さん、審査委員長・小野裕人さん、司会の浅井雄一さん



愛知県協力の交通安全動画を配信



オンライン表彰式の会場入口



応募された方へ審査員、主催者からのあたたかいメッセージが送られた



岩瀬 七奈 さん



高萩 創一郎 さん



伊藤 勇樹 さん



関 菜理奈 さん



大隅 勇 さん

受賞作の特別賞1作品、金賞6作品、銀賞12作品、銅賞12作品、KIMIMOきみも賞3作品、努力賞120作品が発表された(写真は一部掲載)



文部科学副大臣の池田佳隆氏による 子どもたちへの熱いメッセージ

後援をいただいた文部科学省より文部科学副大臣の池田佳隆氏に「KIMIMOきみも賞」を3作品選出していただきました。応募された方々には「本当に多くの素敵な作品ばかり拝見させていただきました。みんながんばったでしょう!と思います。保護者の方々もこの世の中で大変な思いをされた中、作品を応募されたことに敬意と感謝を申し上げます。」「このような素晴らしいイベントをみんなで盛り上げてほしい」とのお祝いのメッセージでした。表彰式終了後は「直接子どもたちの喜ぶ顔が見えなかった。次回の開催も楽しみ」と。次への期待も高まっている様子でした。

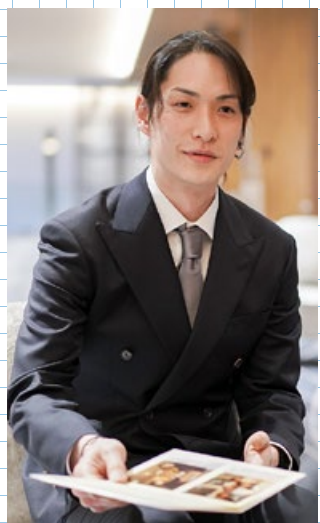


仕事として依頼を受け、小野さんが描いた天皇后両陛下の様子



5歳の時に受賞しアーティスト活動のきっかけとなったコンクールの店長賞

審査委員長の小野さんが入賞作品を選んだポイントは「絵のテクニックではなく、楽しんで自由に表現しているか、絵から伝わってくるパワーを感じられるかどうか」とのこと。応募作品を見ながら、この子はこんな性格かな、動物好きなんだなと考えながら、時間をかけて選出されたようです。「画家になれとは言いません。このコンクールを自分の中でいい方向に向けられるきっかけになったり、何か新たなものを発見できる機会になれば」とメッセージを送っていました。



審査委員長の小野裕人さん

このコンクールの意義と 絵を描くみんなへのメッセージ

審査委員長・小野裕人さんは、自らモデルとなり絵を描く過程の動画を発信する異色のアーティストであり企業CMやロゴ制作、書籍の挿画も手がけ、動物愛護活動を続けています。「何が将来にとっていいきっかけになるかわかりません。そんないい機会にしてほしいです」「みなさんの作品をひとつひとつ拝見して初心に戻ることができ、学ばせていただくことができました。楽しく描くことを忘れないでほしい」とお話をいただきました。

みんなのハッピーカーコンクールを主催するNPO法人KIMIMOの理事長・印東梓さんからは「未来をつくる子どもたちが命の大切さをみんなで考えるきっかけになってほしいです」「私たちが忘れていている自由な発想が素晴らしい。それを育てていく大人たちの責任感も大切」と、メッセージをいただきました。

金賞受賞の方にうれしい声を聞きました

表彰式終了後に行われたインタビューでは、「受賞できてうれしい。発表を見てびっくりしました」「家族とみんなで話しながら考えて排気ガスをシャボン玉にする案を思いつきました」「動物を幸せそうに描くのが難しかったけど楽しかった」「人と動物と一緒に楽しくしている様子を描きたかった」「父とどうしたら動物と幸せになれるかを一緒に考えられた」「サーカスのようなにぎやかさと楽しさを表現したかった」「色鉛筆と水彩で描きました」「生き物と車の中で幸せになっている様子を描くのが大変だった」と、次回もまた参加したいと喜びの表情で、受賞発表時や、作品制作時のリアルな声が聞けました。受賞者の作品だけでなく、応募作品がまとめられたパネルがネッツトヨタ中部の各店舗で展示されています。※ぜひご覧ください。

※各店舗ごとに展示されているパネルが違います。応募された作品は、応募された店舗、もしくは応募エリアに近い店舗でパネル展示されています。受賞作品パネルは全店舗に展示されています。展示期間は4月下旬予定



オンラインでインタビューに答えてくれた金賞受賞者の方々

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

今回のイベントはSDGsの「目標4. 質の高い教育をみんなに」「目標7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「目標11. 住み続けられるまちづくりを」「目標12. つくる責任つかう責任」に即した事業です。



目標4.
質の高い教育を
みんなに



目標7.
エネルギーを
みんなにそして
クリーンに



目標11.
住み続けられる
まちづくりを



目標12.
つくる責任
つかう責任